

令和 3 年 5 月 25 日
学校法人 大乘淑徳学園

令和 2 年度の資金運用結果について

令和 2 年度の金融市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に振り回される展開となりました。世界的な社会的隔離措置により、経済は大幅に落ち込み、米国 10 年金利は歴史的な低水準で推移しました。各国の中央銀行は金融危機を回避するための対応に迫られました。

国内では、日銀の資産購入規模の拡大や「新型コロナウイルス感染症にかかる企業金融支援特別オペレーション」を導入して資金供給を行い、金融緩和を一段と強化しました。

本学園では、上記の状況の下、資金運用規程に則り、資金運用委員会・資金運用小委員会を組織して、令和 2 年度資金運用方針に基づき資金運用に取り組みました。

以下に令和 2 年度の資金運用結果についてご報告いたします。

1 預金（期末残高 115 億円）

満期を迎えた定期預金などについて、一定の預金量を有し健全経営を行っている金融機関のなかから、利率面で有利なところへ預け入れを行いました。日銀による長短金利操作付量的・質的金融緩和が継続するなかでの結果となりました。

運用益は 2,506 万円（利回り約 0.22%）となりました。

2 社債（期末残高 約 78 億円）

社債については、生保・損保の劣後債 4 銘柄 20 億円、不動産系事業債 2 銘柄 7 億円を新規に購入しました。

運用益は 6,084 万円（利回り約 0.78%）となりました。

3 金融債（期末残高 約 15 億円）

金融債については、保有する債券で運用を行いました。

運用益は 1,257 万円（利回り約 0.84%）となりました。

4 その他（期末残高 約 65 億円）

クレジットリンク債 1 銘柄 5 億円が償還しました。

運用益は 6,408 万円（利回り約 0.98%）となりました。

以上